

平成25年7月1日

新潟市長 篠田 昭 様

新潟市議会議長 志田 常佳

### 平成25年度第1回議会報告会における市民意見等について

市議会では、今年度第1回目の議会報告会を5月11日、12日に開催いたしました。

報告会では、各会場に参加された市民の皆さまから、議会に関するもの、市政に関するものなど様々な意見、要望等をいただきました。市議会としては、これらの意見等について、議会に関するものについては、今後の議会活動に生かしていくこととしておりますが、執行部に関するご意見等についても、議会として検討した結果、下記のとおり集約したところであります。

つきましては、今後の市政運営にあたっては、これらに留意のうえ取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、市民の意見等のうち執行部に関係すると思われるものを、参考までに添付いたしました。

### 記

#### 1. 新公共交通システムについて

##### (1) BRTの導入について

BRT導入については、連節バスである必要性、乗り換えによる不便さに対する懸念、運行時の安全対策や料金設定などの様々な課題のほか、駅南方面の優先整備や地域の公共交通とセットでの充実・再編との意見もあります。よって、市民、議会としての意思が早急に示せるよう、これらの課題等について、十分な検証のもと、より具体的な対応方法を明確かつ早急に示すことを求めます。

##### (2) 区バス、住民バスについて

今後益々進展する高齢社会にあって、買い物や通院などの生活交通の確保は重要な課題であることから、区バス、住民バス運営への補助等については、採算性の観点も必要であるが、より利用しやすいものとなるよう特段の配慮を要望します。

##### (3) 西堀地下駐車場について

公共交通の再編に関連して、公共交通の都心アクセスの向上及び都心部における車から公共交通へのシフトの観点からも、赤字続きの西堀地下駐車場は抜本的な対策を講じられるよう求めます。

## 2. 子育て支援及び高齢者福祉について

子どもの医療費は、子育て世帯にとって大きな負担となっていることから、県からの補助金復活を強く要望するとともに、子どもの人数を問わず中学校卒業まで助成するよう要望します。

また、水族館をはじめとした公共施設や市主催のイベント等の料金設定について、年金暮らしの高齢者等が気軽に参加できるよう特段の配慮を求めます。

## 3. 雇用施策について

新産業の創出、6次産業化の取り組み、企業誘致などをはじめとした産業政策を推進し、雇用の確保・創出及び市民所得向上のための施策を強力に推し進めるとともに、市臨時職員等の低賃金の改善を含め、ワーキングプア対策にも積極的に取り組んでいただきたい。

## 平成 25 年度 第 1 回 議会報告会での主な発言等

平成 25 年 5 月 11 日(土)13:30～

北区, 東区, 中央区, 江南区秋

平成 25 年 5 月 12 日(日)13:30～

秋葉区, 南区, 西区, 西蒲区

## 1. BRT構想について

- BRTの導入に関して, 連節バスは外国製のバス。バス停はどうなるのか。メンテナンスや雪対策は大丈夫なのか。(東区)
- BRTに関して, 議員はどう考えているか。今日は中央区の議員はいないが, 他区からみて, どう考えているのかがわからない。また, 説明会も市長の姿が見えない。富山では, 市長が地元の説明会に 30 回くらい出たと聞いている。新潟島中心としたような考え方はいやだ。議会もオール与党になっているじゃないか。(中央区)
- BRTは執行部の説明不足, 認識不足というか執行部自体が中身を消化しきれていない。それをいくら言われても市民には伝わらない。(中央区)
- 以前のオムニバスタウン計画も中途半端な状況で, BRT先にありきというのは理解に苦しむ。立ち止まってほしいと思う。

BRTの連節バスのために, 駅前広場が削られたりする。昭和 33 年に駅が出来て以来 50 年間の歴史が詰まっている。中央の 50 年かかって育った並木があつて初めて周りのビルともマッチしている。万代広場には, いろいろな歴史や思いが詰まった彫刻やモニュメントがある。そういうことを念頭において生活交通のまちづくりをしていただきたい。(中央区)
- BRTについて費用対効果の面からいってもちよつとまずいのではないかと。交通産業に 40 数年間従事していたので, バスの客の流れは承知している。構想としては立派なのかもしれないが費用対効果を見ると後で失敗ということがあれば, 誰が責任をとるのか。そういうことがないように議員にもできることならストップをしてもらって, 今あるオムニバスタウン事業を整備した方がむしろ有効ではないかと思う。(江南区)
- BRTは古町を活性化しようという狙いがあるが, 白山電車をまた復活しようなんてとんでもない。むしろビッグスワン方面・市民病院に走らせればよい。もうひとつは柳都から空港まで走らせる方がよほど市民は喜ぶ。なぜ民間企業にわれわれの税金を使わなくてはならないのか。本来ならば下から上がってきてどうしても必要だったら税金使ってもよいが, そうでなければ自分の税金を使ってほしくない。(江南区)
- BRT導入などの新公共交通システムで, 市全体の利便性がどうなるのかについて, 議員の発言がない。地域住民と議員との意見交換が少ないのではないかと。議会による各区で公共交通検討会を開催し, 各区の公共交通体系の案を議員提案するくらいの積極的な取り組みをして欲しい。

区バスや住民バスを含め地域の生活交通の利便性が高まる取り組み、例えば買い物と通院は公共交通で確保できないならば、計画を白紙に戻すなど、勇気ある議会活動を求める。(秋葉区)

- BRTに関して、障がい者・高齢者を含め一般市民は十分納得していない。ぜひ、障がい者・高齢者・市民に事故がないようにしていただきたい。現在でも大型バスが横断歩道で停車していると、安全に渡れない。連節バスが導入されると信号があっても安全に渡れるのか不安。(西区)
- BRTにしても行政の議論が市民に見えないことが多い。BRTの導入は、不採算路線が廃止にならないようにするためだと聞いたが、一方で乗り換えなどで不便になるとも言われている。不便になる情報もすべて住民に伝えて、議論ができるようにすべきではないか。(西区)

## 2. 地域の公共交通について

- 北区住民バスで大夫浜・松浜・新崎ルートは、平成24年度は努力の結果、運行経費の32%を賄うことができた。30%を超える2%が補助金減額の対象になるので見直してほしい。運行経費の欠損額70%を下回り、単年度の収支率が30%を超えた分の補助金については、最大三年間の繰り越しをできるようにしてほしい。収支率向上や利用者の利便性のために、バスの増便ができるような形にしてほしい。運営経費についても考慮してほしい。(北区)
- 古町へバスで行くのに往復700円もかかり、高すぎる。山の下地域から駅前や石山出張所方面へ行く区バスは高齢者や中学生の利用者が多く便利だが、土日の運行も検討してほしい。また、高齢者への運賃の補助や無料化も検討してほしい。(東区)
- 買い物難民と言われる高齢者が多くなっている。大江山地区でも、区バス、住民バスの他に地域バスを検討している。BRTも結構だが先に末端の交通アクセスを再度認識したうえで議論してほしい。(江南区)
- 地域の交通体系について、地域の交通弱者に対して、例えば、せめて通院くらいはワンコインで行けるような、地域の実情に応じた運行が可能となるよう、市が主導して検討して欲しい。(西蒲区)

## 3. 子ども医療費助成について

- こども医療費助成について、子どもが3人以上の世帯に対してだが、何故3人以上と決めたのか。みんな平等にしないのか。(中央区)
- こどもの医療費助成制度が、3人以上の子供がいる世帯で高校卒業までに拡充されたが、若いお母さんからは、入院もお金がかかるが通院の負担も重いという声が多い。少子化対策でなく、子育て支援としての助成制度であるべき。新潟市は政令市になって、県の補助金がなくなったが、復活を県に要望しているのか。(西区)
- 拡大の審議の時に、通院で中学校卒業まですべての子供を対象にとの意見はなかったのか。他の政令市の状況は把握をしているのか。新潟市がすべての子供を中学校卒業まで対象にした場合、

どれくらいの予算がかかるのか教えてほしい。莫大な予算をBRTに注ぎこむより、福祉や医療に私たちの血税を注ぎこんでもらいたい。(西区)

#### 4. 高齢者福祉について

- 水族館やその他のいろいろな催しがあるが、家族で行くと何でも2倍、3倍になる。年金生活の老夫婦などでも気軽に催しもの、イベントに参加できるように、料金の設定を低めに抑えるようにしてほしい。(西蒲区)

#### 5. 雇用施策について

- 職が少ないため、(雇用創出のために)産業政策の推進をするべき。(北区)
- 雇用の確保(特に若者)に力を入れることと市所有の未利用地の活用を進めるべき。(北区)
- 若者が希望を持てる社会の実現が大事。特にワーキングプアに対する取り組みは。(西蒲区)

#### 6. 防災、インフラ整備について

- 江南区の跨線橋が昨年から通行止め状態が続いている。建築物インフラの整備の方も今後耐用年数が過ぎている橋とか古い交差点とかそういうところもメンテナンスをして改良していただき長期間通行止めにならないようにしてほしい。(江南区)

#### 7. 防犯灯助成、地域コミュニティ施策について

- 防犯灯について、LEDの取替えについて拡大となったが、既存の蛍光灯は従来どおり3分の2の補助しかない。地区によっては全面的に市で負担しているところと、自治会負担と市からの助成と抱き合わせでやっているところがあるので、不均等をなくして一括して市の方で支払っていく対応を議会でも検討してほしい。(江南区)
- 防犯灯の補助について、申し込みが5月末までとなっていて、それ以降に電球が切れた場合、翌年度まで待たなければならない。切り替えが計画的にできないケースもあることから6月以降の修繕・改修も補助対象として受け付けてほしい。(秋葉区)

#### 8. ゴミ処理について

- 23年12月定例会の決算の認定において、委員長報告で、ごみ手数料が高い、他に回せとの趣旨の報告があった。市民還元ではなく、手数料を下げるべき。(中央区)
- 家庭系ごみのさらなる減量について、昨年、焼却場から水銀が基準値をオーバーして出たが、事業系ごみをチェックすることなく焼却していることや、焼却場で民間委託された業者が、水銀凝固剤を節約していたことも原因と言われている。民間委託事業者のもうけのために税金を払っているわけではないので、市民の健康や環境を守るために使ってもらいたい。事業系ごみをチェ

ックする機関をきちんとつくるなど、議員は税金の使い道をチェックすべきだ。(西区)

## 9. 予算編成、財政運営について

- 予算編成に対する市民意見は、2007年度はゼロ、2013年度もほとんどゼロと日報の報道があった。今年はどうであったか。なぜゼロかという点、市でもいろいろな部署から市民意見を募集しているが、ホームページなど難しい手法や難しい言葉で募集していて、1人1人の家庭まで発信が届かないのが現実。単にホームページだけでなくいろいろな手法で具体的に発信して欲しい。(中央区)

## 10. その他

- 西堀駐車場の赤字を改善させるべき。無理なら廃止を含めた抜本的な方策を取るべき。(北区)
- 被災地や避難者への支援は引き続きしていかなければならないと思うが、取り組みはどうなっているか。(東区)
- 区自治協議会に対する女性委員を40%にとの書面依頼について、数値目標を掲げるよりも、女性の声が反映され易い会議をするためにどのようにしたらいいかを考えて頂きたい。男女は、同等ではあるが同質ではないので、その事をわかって男女共同参画を進めてほしい。(南区)